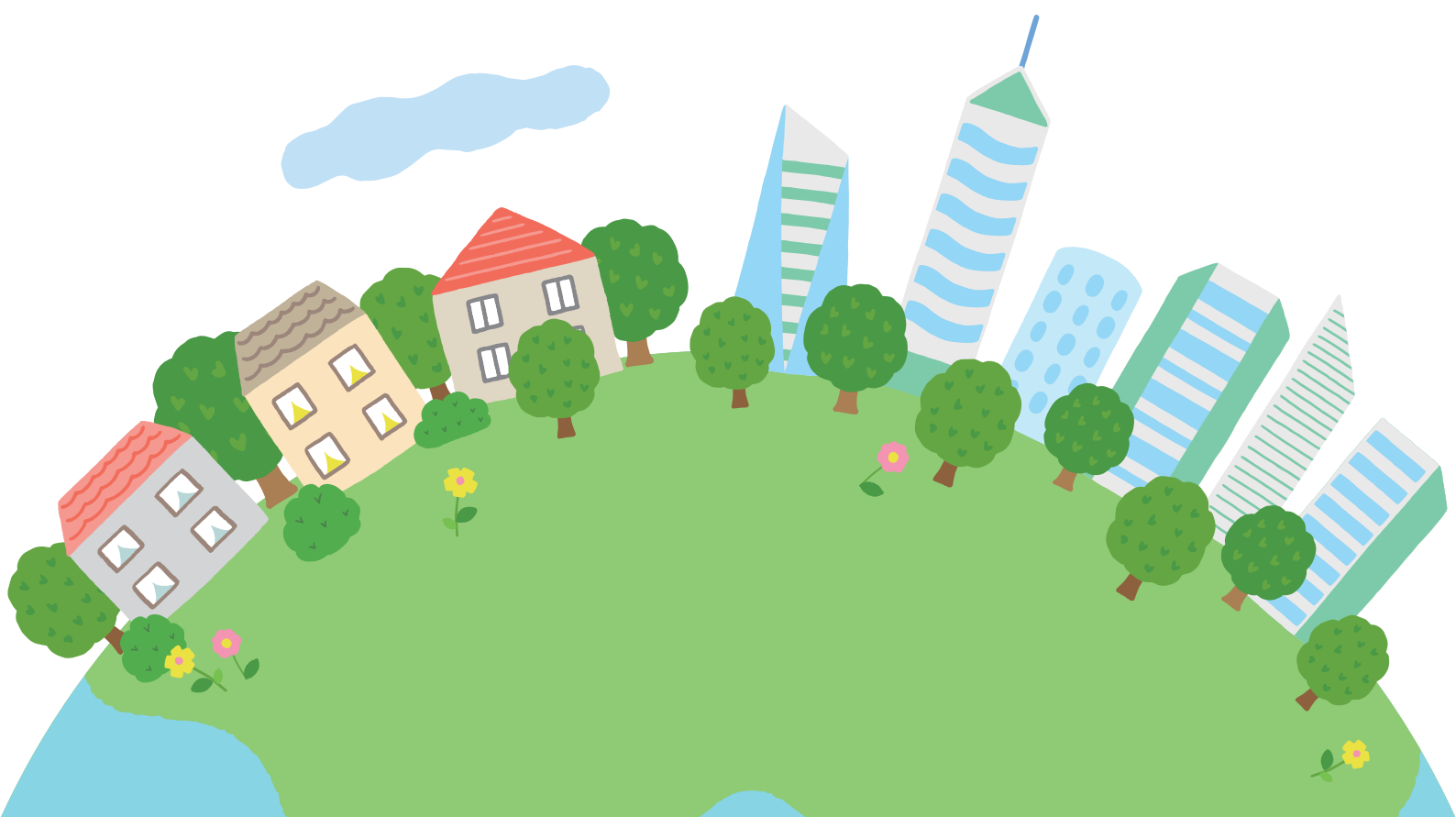




2020年度 CSR報告書

まちづくり・社会活動レポート



医療生協さいたまの基本理念

私たちのこころ

人が人として大切にされる社会をめざし
保健・医療・介護の事業と運動をとおして
様々な人たちと手をつなぎあい
平和とくらしを守り
健康で笑顔あるまちをつくれます

行動指針

- ◎私たちは、心に寄り添う、信頼できる医療とあたたかい介護を、利用者の主体的参加の中でつくれます。
- ◎私たちは、いのちと人権を脅かす戦争や政治に反対し行動します。
- ◎私たちは、組合員の参加をひろげ、県民とともに歩みます。
- ◎私たちは、地球環境を守り向上させます。
- ◎私たちは、仲間とともに成長し、一人ひとりの自発性と創意を活かす医療生協をつくれます。

あいさつ



平素は、医療生協さいたまの事業活動・組合員活動にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。また、コロナ禍で医療物資・衛生資材が不足するなか、公的機関や公益団体、民間団体、個人の方などから多大なご寄付をいただき、心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大は、日本で最初の感染者の存在が発表されてから1年以上が経ったいまも、収束の見通しが立っていません。年単位の長期的な視野で対応することが求められています。医療生協さいたまでは、埼玉県や自治体からの要請、地域住民のニーズに応えるため、全力を挙げて新型コロナウイルスと向き合い、各地域で医療を支えてきました。介護事業においては新たに2事業所を開設し、地域密着型事業をさらにすすめることができました。

一方、このコロナ禍のもとで、これまでの医療・福祉政策の矛盾がいつそう明らかになりました。格差や貧困の拡大、非正規雇用の増加、公衆衛生や医療・福祉など社会保障が後退する社会は、きわめてもろい社会です。

新型コロナウイルスに揺れる社会に対して医療生協さいたまの組合員・職員も、怖さや不安、気分が沈むといった心のつらさを体験しています。しかし、私たちはこの体験をとおして、人と人とのつながり、相手を思いやる気持ちの大切さなどを再確認しました。地域のなかでおなじみの仲間と直接顔を見ながら交流し、一緒に体を動かすという日常的な営みがいかに大切だったかを実感しました。

私たち医療生協さいたまは、住民のいのちと暮らしを守るために、これからも医療・介護事業に取り組んでまいります。現在の困難な状況を克服するためには、組合員・職員の力だけではなく、個人・団体や行政との協同・連携が必要となります。日頃より培ってきた、地域でのつながりやネットワークを活用しながら、これまでの健康づくり・地域づくり活動で得られた知恵と経験を生かしていきます。

引き続き、当生協の事業活動・組合員活動へのご理解・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

2021年3月末日

医療生協さいたま生活協同組合
理事長 雪田慎二

CONTENTS

基本理念

あいさつ

1 地域の医療・介護を守り、いのちと暮らしの安心へ	3
〔医療事業〕 新型コロナウイルスに対峙し、地域医療を支える 埼玉協同病院 / 生協本部 / 埼玉県指定診療・検査医療機関	
〔介護・福祉事業〕 住み慣れた地域での暮らしを支える 小規模多機能型居宅介護「生協花の木ホーム」の開設 / 「行田市地域包括支援センターほんまる」の開設 / 障害者(児)とその家族を支える障害福祉サービス / 自治体とともに取り組む見守り	
〔新型コロナウイルス対策と支援〕 支援物資やメッセージが患者や利用者、職員を支える力に	
2 “with コロナ”時代の健康づくり・つながりづくり	5
〔健康づくり〕 感染予防をしながらの取り組み 健康ひろば・安心ルーム(2つのひろば) / おうちで健康づくり / ウォーキングも工夫して	
〔つながりづくり〕 笑顔をつくる取り組み 電話・手紙・メール・LINE でつながる / 訪問してつながる	
3 地域の人たちと「困りごと」に対応し、助け合う	7
地域のなかで協同して取り組むフードパントリー活動 / 「認知症」でつながるオレンジカフェ / 埼玉県認知症サポート企業として登録 / 無料低額診療事業を通して「いのちの平等」の実現をめざす / 「お互いさま」で支え合うくらしサポーター制度 / 差別や偏見のない社会をめざすシトラスリボン運動	
4 平和に暮らせる社会と豊かな地域めざして	10
平和を願い、学び、対話を広げる取り組み / 3.11 を風化させない取り組み / 社会貢献団体への活動助成金	
5 働きやすい職場づくりと環境に配慮した取り組み	11
女性が働き続け活躍する職場 / ワークシェア・ダイバーシティの取り組み / 環境を守る責任	
組織概要	12
事業所一覧	13

1

地域の医療・介護を守り、いのちと暮らしの安心へ

【医療事業】新型コロナウイルスに対峙し、地域医療を支える

医療生協さいたまでは、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行が確認された2020年2月、埼玉協同病院で新型コロナウイルス対策本部を立ち上げました。3月には生協としても対策本部を設置し、刻々と変化する状況に対応してきました。

● 埼玉協同病院

医療生協さいたまの中心的な役割を担う埼玉協同病院では病院長をはじめ、感染症コントロール医師、感染管理認定看護師が中心となって、日々更新される国や学会から発信される情報をもとに、感染対策レベルを向上させ対応してきました。また、埼玉県や川口市からの要請に応え、地域の病院としての使命を果たしてきました。



病院入口にある自動検温システム(埼玉協同病院)

● 生協本部

雪田理事長を本部長とする対策本部は、①医療・介護サービスの提供における感染防止対策の強化、②不足するマスク・ガウンなど衛生材料の本部集中・一括管理(発注・供給・作製)、③職員の心理的負担軽減に向けたカウンセリング体制整備、④PCR検査などの検査体制整備に向けた県や自治体への要請書提出などに取り組みしました。

感染拡大の第2波以降が懸念された段階でも体制を継続させ、感染防止に努めてきました。

● 埼玉県指定診療・検査医療機関

医療生協さいたまの4病院と8診療所は、2020年12月に新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行に備えた「埼玉県指定診療・検査医療機関」として、発熱外来などの診療体制を整え、地域の患者・住民の診療にあたってきました。

【介護・福祉事業】住み慣れた地域での暮らしを支える

住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、地域密着型サービス事業所の開設などをすすめてきました。

● 小規模多機能型居宅介護「生協花の木ホーム」の開設

2020年3月1日、秩父市に生協ちちぶケアステーションの関連施設として、小規模多機能型居宅介護「生協花の木ホーム」をオープンしました。市の中心部に立地し、近隣の医療機関との連携をとりやすい好条件を活かし、「通い」「泊まり」「訪問」の3つの機能で、利用者の暮らしを支えています。



生協花の木ホーム

「行田市地域包括支援センターほんまる」の開設

行田市から地域包括支援センター事業を受託し、2020年10月1日、「地域包括支援センターほんまる」をオープンしました。医療・介護・保健・福祉などに関するサービス利用、日常生活支援などの総合相談窓口として、高齢者をはじめとした地域のみなさまに役立つ事業所をめざしています。



「ほんまる」は、行田協立診療所・ケアセンターさきたまに併設された地域交流棟「オシノテラス」(写真手前の建物)内にある

障害者(児)とその家族を支える障害福祉サービス

日中一時支援事業は、障害者(児)を介護する家族が、休息や外出、仕事などにより一時的に障害者(児)を施設が預かる事業です。看護師やリハビリなどの専門職が障がいに合わせて人工呼吸器や点滴の管理、痰の吸引、食事介助、入浴、リハビリ

りなどを行います。介護する人の負担を軽減し、障がいを持つ人と家族の地域での暮らしを支えています。

以下、4事業所がこの事業を行っています。

- ・ケアセンターきょうどう(川口市) ・ケアセンターとこしん(所沢市) ・ふじみ野ケアセンター(ふじみ野市)
- ・ケアセンターさきたま(行田市)

自治体とともに取り組む見守り

医療生協さいたまでは35の自治体と、地域の見守りに関する協定の締結や登録を行っています。組合員や職員が日常的に活動するなかで、支援が必要な状況に気づき、孤独死などの問題が発生しないように自治体と連携しながら対応するしくみづくりです。

広報誌『けんこうと平和』は、8,000人以上の組合員によって約13万部が手渡しされています。配布の際の「何か変わったことはないですか」のひと言が、暮らしの安心と安全につながります。



『けんこうと平和』表紙

見守りに関する協定の締結や登録を行っている35自治体(2021年3月末現在)

さいたま市 川越市 熊谷市 川口市 行田市 秩父市 所沢市 飯能市 東松山市 狭山市 鴻巣市 深谷市 上尾市 草加市 蕨市 戸田市 入間市 朝霞市 新座市 桶川市 北本市 富士見市 蓮田市 幸手市 日高市 吉川市 ふじみ野市 白岡市 横瀬町 皆野町 長瀬町 小鹿野町 寄居町 宮代町 杉戸町

【新型コロナウイルス対策と支援】支援物資やメッセージが患者や利用者、職員を支える力に

160を超える個人や団体・企業から、寄付金やマスク・ガウン・フェイスシールドなどの支援物資をいただきました。県内の生協からは支援物資とともに、あたたかいメッセージもいただくなど、生協間の連携が大きく広がりました。

組合員は手づくりの袖付きエプロンやアームカバーあわせて約1,000枚作製し、見えないウイルスと向き合う職員を支えました。こうした支援や協力が、地域の医療や介護を守る力になっています。

2 “withコロナ”時代の 健康づくり・つながりづくり

2020年4月、改正新型インフルエンザ等対策特別措置法にもとづく緊急事態宣言が出され、組合員活動を一時休止にしました。同年5月末に宣言が解除されて以降は、地域での新型コロナウイルス感染拡大の状況をふまえ、すすめてきました。

『新型コロナウイルス感染症対策ハンドブック 組合員活動 with コロナ』（2020 年 9 月）を発行し、感染対策の基本を周知しました。また、『組合員向け学習資料 新型コロナワクチン Q & A』（2021 年 3 月）を発行し、ワクチン接種に対する理解を深めていただくとともに、地域のみなさまにも活用していただきました。これらは、ホームページに掲載しています。

『新型コロナウイルス感染症
対策ハンドブック 組合員活
動 with コロナ』

『組合員向け学習資料 新型コロナワクチン Q & A』

【健康づくり】感染予防をしながらの取り組み

健康ひろば・安心ルーム(2つのひろば)

一人では長続きしない運動や体操も仲間と一緒に「健康ひろば」なら、継続的に取り組むことができます。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、公民館などの屋内で行っていた体操は屋外へ、体操などで共有する道具は個人用に変更するなど、新しい活動スタイルを創意工夫しながらすすめました。

人と人との結びつきをつくることを目的とした、ホッと安心できる居場所が「安心ルーム」です。「3密」(密閉・密集・密接)を避けながら、布マスクや小物づくりなどにも取り組みました。



「密」を避けて屋外で体操（川口市）

● おうちで健康づくり

コロナ禍での外出自粛のなか、スクワットやウォーキングなど、一人でもできる健康づくりを広げました。ホームページでは、筋力や運動機能の

低下を予防する自宅でできるさまざまな体操を紹介しています。

● ウォーキングも工夫して

フィジカルディスタンス（人と人の身体的な距離）を確保しつつ楽しく行うため、ウォーキングも見直しました。人出が少ない時間帯に行く「早朝ウォーク」、歩きながらゴミを拾う「クリーンウォーキング」、行き先を秘密にして楽しむ「ミステリーウォーキング」などです。大型ショッピングモールで開催されていた健康チェックなどのイベントも、モール内ウォーキングに変更しました。ウォーキングのバリエーションが広がっています。



互いの距離をとりながらのウォーキング（熊谷市）

【つながりづくり】笑顔をつくる取り組み

● 電話・手紙・メール・LINE でつながる

組合員は各地区・支部で「コロナに負けないプロジェクト」を発足させるなど、「こんなときこそつながろう」と、電話・手紙・メール・LINE で声をかけ合いました。緊急事態宣言に伴う自粛要請時には健康状態を聞き取り、その結果（下表）を分析してニュースで知らせました。

また、組合員 1,100 人の健康状態や困りごとの聞き取りから、多くの人が健康の悩みや、孤独・不安を抱えていることがわかりました。専門的な支援が必要な組合員には、保健師などが継続的に関わりました。



職員が組合員宅を訪問して困りごとなどを聞き取り（熊谷市）

「生活するなかで“困ったこと”“困っていること”はありますか？」

さいたま市（西区、北区、大宮区、桜区）の組合員健康調査結果（2020 年 8 月：対象 293 人）

人とのつながり（話し相手がほしい、人に会えない、面会に行けないなど）	25 人
活動の制限（自由に外出できない、買い物の回数減、サークル活動ができないなど）	24 人
物品の不足（マスク、ハンドソープなど）	11 人
家計への影響（仕事がなくなる、お金の不足、生活費が膨らんだなど）	10 人
コロナによる体への影響（歩行困難、腰痛、身体能力の低下など）	8 人
コロナによる心への影響（感染への不安など）	7 人
その他（小・中学校の休校、乗客減による路線バス廃止への不安、食事づくりなど）	14 人

● 訪問してつながる

各地域では「3 密」にならないよう留意しながら、顔の見えるつながりを継続するため、組合員を訪問して対話する活動を行いました。

訪問先では、健康状態や生活上の困りごとなどについて話を聞き、必要に応じて食材を届けたり、くらしサポーター制度につなげたりしました。



組合員宅への訪問活動（朝霞市）

3 地域の人たちと「困りごと」に対応し、助け合う

● 地域のなかで協同して取り組むフードパントリー活動

地域での交流と子どもの支援などを目的に取り組んできた子ども（多世代）食堂は、感染拡大防止のため、食材を無料で提供するフードパントリー活動や弁当の提供へと切り替えました。

フードパントリーでは、組合員や職員をはじめ、NPO 法人フードバンク埼玉、小売業や農家、個人などからの食材提供の支援が大きく広がりました。企業との連携もすすみ、埼玉県内に本拠地を持つプロ野球球団から冷凍庫の寄付や、ファストフード店からフライドチキンの提供がありました。運営では、生活協同組合パルシステム埼玉や埼玉県立大学の有志による協力など、いのちを支えるネットワークが広がりました。

フードパントリー当日は、医師や看護師、社会福祉士などの専門職が健康や生活についての相談会を行っています。地域の「困った」の声を拾い、「誰一人取り残さない」ための取り組みです。



フードパントリーの食材の準備（熊谷生協病院）



熊谷生協病院の相談窓口「地域総合サポートセンター」

医療生協さいたまが取り組む子ども（多世代）食堂とフードパントリー（2021 年 3 月末現在）

自治体名	名称	事業所	フードパントリー	弁当提供
さいたま市	わいわいランチ	おおみや診療所	○	
川口市	みんなの食堂 Flat（ふらっと）	さいわい診療所（会場の提供）	○	
	フードパントリー	川口診療所（会場の提供）	○	
	にじいろパントリー	埼玉協同病院／ 老人保健施設みぬま／生協本部	○	
所沢市	さんとめキララ	小規模多機能さんとめ／ 埼玉西協同病院	○	
	桂の食卓 桂ん家	所沢診療所／ 介護付有料老人ホーム桂の樹	○	○
ふじみ野市	おい コロンくらぶ	大井協同診療所	○	○
熊谷市	HAPPY くまここ	熊谷生協病院／ 介護複合施設くまここ	○	○
行田市	フードパントリー	行田協立診療所／ ケアセンターさきたま	○	

「認知症」でつながるオレンジカフェ

認知症の人やその家族が安心して生活できるように、支援・交流の場としてオレンジカフェを開催しています。地域の人など、誰もが気軽に参加できます。医療生協さいたまの専門職も参加し、

普段抱えている不安や疑問に応えます。当事者の体験を共有することで、地域での認知症に対する理解が広がるように取り組んでいます。

医療生協さいたまのオレンジカフェ一覧（開始年月が早い順）

自治体	名称	事業所	開始年月
熊谷市	オレンジカフェ熊谷 よってきな	熊谷生協ケアセンター	2015年2月
行田市	うきしろカフェ	行田協立診療所・ケアセンターさきたま	2016年9月
川口市	介護老人保健施設みぬま オレンジカフェ	介護老人保健施設みぬま・ケアセンターきょうどう	2017年2月
ふじみ野市	オレンジカフェ ふじみん my Life	大井協同診療所	2017年4月
所沢市	オレンジカフェ さんとも	小規模多機能さんとも・グループホームさんとも	2017年7月
所沢市	オレンジカフェ なかとみ	埼玉西協同病院	2017年7月
所沢市	所沢市みんなのカフェ ホッとこしん	所沢診療所・ケアセンターとこしん	2017年9月
川口市	さいわい診療所 オレンジカフェ	さいわい診療所・ケアセンターかがやき	2017年12月
川口市	オレンジカフェ すこやか	川口診療所	2018年2月
ふじみ野市	オレンジカフェ ふじみん にじ	ふじみ野ケアセンター	2018年3月

※新型コロナウイルスの感染拡大により、開催が不定期になったり、休止している事業所があります。

埼玉県認知症サポート企業として登録

医療生協さいたまは2017年2月1日付で埼玉県認知症サポート企業に登録され、活動を継続させてきました。認知症サポート企業とは、埼玉県が認定した認知症サポーターの計画的な社内養成や継続的なフォローアップ、自主的な取り組みを実施し、認知症への適切な理解と対応に努める企業などです。

認知症サポーターの養成や学習会の開催などを随時、行っています。



埼玉県認知症サポート企業登録証

無料低額診療事業を通して「いのちの平等」の実現をめざす

無料低額診療事業は、生計困難な人が、経済的な理由で必要な医療を受ける機会を制限されることのないよう、無料または低額な自己負担で診療を行う（＝減免）事業です（社会福祉法にもとづく第2種社会福祉事業）。医療生協さいたまではこの事業を公的社会保障制度の適用にいたる入口やきっかけとして位置づけ、2010年に開始しま

した。現在は、すべての病院・診療所・老人保健施設（計16事業所）で利用できます。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、収入減や生活困窮による相談が増えています。2020年度の相談人数は前年度に比べ、約11%増になりました。

2020年度実績（2020年4月～2021年3月）

	相談人数（人）	相談回数（回）	減免人数（人）	減免回数（回）
16事業所計	199	248	334	791

「お互いさま」で支え合うくらしサポーター制度

暮らしのなかの困りごとを組合員どうしで助ける「医療生協さいたまくらしサポーター制度」は、2012年12月に川口市でスタートした有償ボランティア制度です。2020年度は三芳町と深谷市でもはじまり、県内16市町でくらしサポーターが活動しています。

自治体や介護事業所からの紹介の利用も増え、新型コロナウイルスの感染拡大により「里帰り出産ができない」「出産後に実家から手伝いに来てもらえなくなった」などの事情による依頼もありました。子育て支援は25回となり、子どもを産み・育てやすい社会づくりに向けて、地域のなかで支え合う輪を広げています。



くらしサポーターによる草取り（さいたま市）

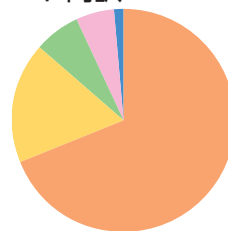
さいたま市、川越市、熊谷市、川口市、秩父市、所沢市、飯能市、狭山市、深谷市、上尾市、草加市、朝霞市、桶川市、富士見市、ふじみ野市、三芳町

2020年度実績（2020年4月～2021年3月）

	年間計	月平均
サポート回数（回）	2126	177.2
サポート時間（時間）	2746	228.8
利用者数（人）	615	51.3

2020年度サポート内訳

- 家事援助（68.9%）
- 日常生活支援（17.7%）
- 外出支援（6.7%）
- 見守り・話し相手（5.5%）
- 子育て支援（1.2%）



差別や偏見のない社会をめざすシトラスリボン運動

シトラスリボン運動は、愛媛県松山市ではじまった、新型コロナウイルス感染者や医療・介護の従事者を受け止め、「ただいま」「おかえり」と言い合えるまちづくりをすすめる運動です。リボンの3つの輪は「地域」「家庭」「職場や学校」を表現し、1本のヒモで結ばれています。

この運動に共感した秩父生協病院の職員と組合員は、市内の施設や病院、看護学校にも取り組みを紹介し、リボンを配りました。秩父市と4町（横瀬町・皆野町・長瀬町・小鹿野町）の後援もいただきました。「新型コロナウイルス感染者への差別や偏見をなくそう」という取り組みが全県へ広がっています。



デイケアでシトラスリボンづくり（秩父生協病院）



シトラスリボン

4

平和に暮らせる社会と豊かな地域めざして

● 平和を願い、学び、対話を広げる取り組み

「原水爆禁止 2020 年世界大会」はオンラインで開催され、生協内 3 カ所に視聴会場を設置し、組合員・職員が参加しました。例年取り組んできた平和行進はスタンディングとして行いました。

「医療生協さいたまピースフォーラム 2020」は、5 つの会場をオンラインで結び、日本原水爆被害者団体協議会代表委員の田中熙巳^{てるみ}さんに講演していただきました。

核兵器を禁止する国際条約である核兵器禁止条約が、2021 年 1 月 22 日に発効しました。「日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める署名」は、医療生協さいたまとして 2,600 筆を超えました。歴史的な条約を力に、「核兵器のない世界」の実現に向けて、取り組みを継続させていきます。



原水爆禁止 2020 年世界大会のオンライン視聴会
(本部ふれあい会館)

● 3.11 を風化させない取り組み

2011 年 3 月の東京電力福島第一原子力発電所の爆発事故以降、双葉町民の甲状腺エコー検査を毎年実施し、子どもや家族の安心と未来をサポートする活動を継続しています。組合員による公的施設や公園での放射線量測定は、2020 年度は 13 支部で取り組まれました。

計測を続けることで、原発事故や放射能の問題について学び、知らせる活動に引き続き取り組んでいきます。



職員による放射線量測定も行っている (埼玉協同病院)

● 社会貢献団体への活動助成金

埼玉県内にある非営利団体との連携をつくり、地域に貢献することを目的に、国民のいのちと健康を守ることに資する活動に対し、活動資金の助

成を行っています。2020 年度は、教育・福祉・保健衛生などの活動に取り組む以下の団体に助成しました。

ともに会 (秩父市) / 特定非営利活動法人無料塾ひこざ (さいたま市) / 特定非営利活動法人 NPO にじいろ (熊谷市) / 親子ふれあい教育研究所 (さいたま市) / 特定非営利活動法人ギニアこころのクリニックとおむすびの会 (川口市) / じいじとばあばの宝物 本庄のおうち (本庄市) / 特定非営利活動法人ほっとプラス (さいたま市) / みんなの食堂 Flat (川口市) / わいわいネットワーク鳩ヶ谷 (川口市)

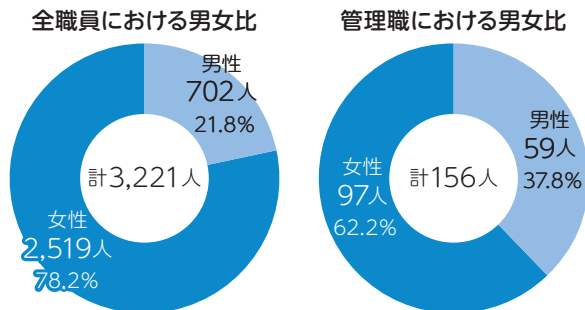
5

働きやすい職場づくりと環境に配慮した取り組み

女性が働き続け活躍する職場

医療生協さいたまの職員で女性が占める割合は、全体で78.2%、管理職（看護長・科長・課長以上）で62.2%です。女性が働き続け、仕事を通して自己実現できる職場環境づくりを推進しています。

全職員数 3,221人



(2021年3月31日現在)

ワークシェア・ダイバーシティの取り組み

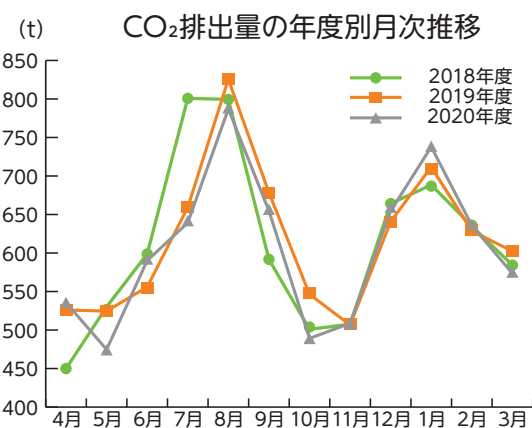
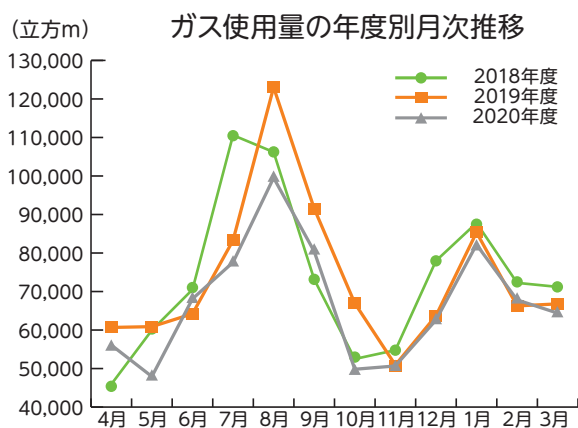
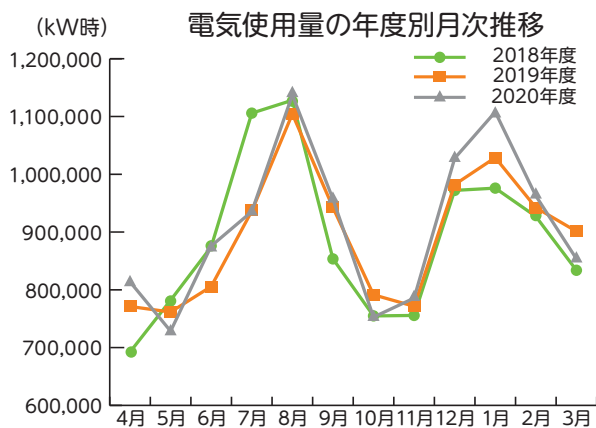
働き方の多様性や企業の社会的責任として、障害者の雇用が義務づけられています。2020年度は、新たに5事業所で8人を雇用しました。医療生協さいたまの2021年3月1日現在の雇用率は、法定雇用率（2.3%）を超える2.65%です。



ハローワークの講習を受けた職員は、精神・発達障害者しごとサポーターとして、このマークが入ったストラップを着用

環境を守る責任

医療生協さいたまでは、地球環境に与える影響を配慮し、電気使用料、ガス使用料、CO₂排出量などを管理しながら事業活動をすすめています。国には「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」（省エネ法）にもとづく中長期計画書を提出し、埼玉県には「埼玉県地球温暖化対策推進条例」にもとづく温暖化対策計画書を提出しています。



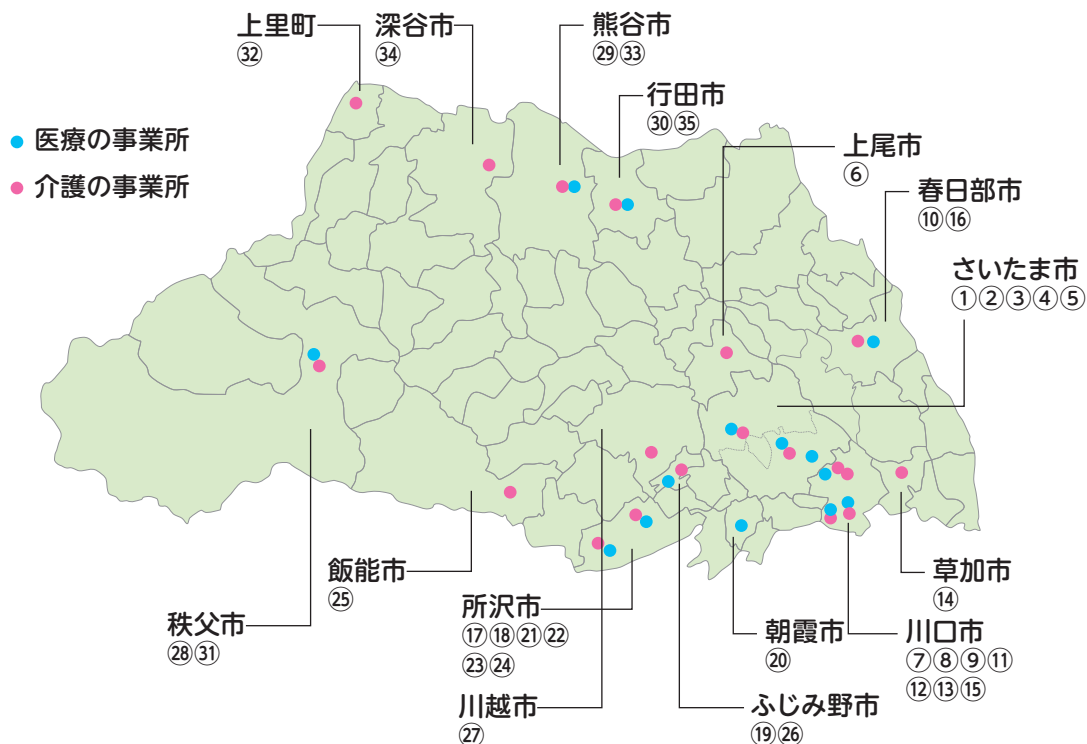
組織概要

(2021 年 3 月末現在)

名 称	医療生協さいたま生活協同組合
設 立	1992 年 4 月1日
本部所在地	埼玉県川口市木曽呂 1317
定 款 区 域	埼玉県全域
総事業収入	229 億 5,834 万円 (2020 年 4 月～2021 年 3 月)
出資金総額	65 億 4,442 万円 (1 口=1,000 円)
組 合 員 数	236,022 人
職 員 数	3,221 人
事 業 所 数	病院 (4) 診療所 (8) 歯科 (2)※ 介護老人保健施設 (2) 介護付有料老人ホーム (1) グループホーム (1) ケアセンター (訪問看護・訪問介護など) (17) 合計 (35)

※歯科はこのほか、病院に併設 1、診療所に併設 1

医療生協さいたまは医療・介護のネットワークで 地域包括ケアを提供しています



事業所一覧

(2021 年 3 月末現在)

県中地域ネットワーク

- ①浦和民主診療所 ……TEL : 048-832-6172
〒 330-0074 さいたま市浦和区北浦和 5-10-7
- ②おおみや診療所 ……TEL : 048-624-0238
〒 331-0047 さいたま市西区指扇 1100-2
- ③生協歯科 ……TEL : 048-810-6100
〒 336-0926 さいたま市緑区東浦和 6-16-1
- ④ケアステーションうらしん TEL : 048-833-7373
〒 330-0074 さいたま市浦和区北浦和 1-8-12 松岡ビル 4 階
- ⑤おおみやケアセンター ……TEL : 048-620-2236
〒 331-0047 さいたま市西区指扇 1070
- ⑥ケアセンターかもがわ ……TEL : 048-778-5030
〒 362-0076 上尾市弁財 1-6-1 第 2 ふじみハイツ 1 階

県南地域ネットワーク

- ⑦埼玉協同病院 ……TEL : 0570-00-4771
〒 333-0831 川口市木曽呂 1317
- ⑧川口診療所 ……TEL : 048-252-5512
〒 332-0022 川口市仲町 1-36
- ⑨さいわい診療所 ……TEL : 048-251-6002
〒 332-0032 川口市中青木 4-1-20
- ⑩かすかべ生協診療所 ……TEL : 048-752-6143
〒 344-0065 春日部市谷原 2-4-12
- ⑪介護老人保健施設みぬま ……TEL : 048-294-9222
〒 333-0831 川口市木曽呂 1347
- ⑫ケアセンターきょうどう ……TEL : 048-296-4973
〒 333-0831 川口市木曽呂 1347 老人保健施設みぬま内
- ⑬ケアセンターかがやき ……TEL : 048-252-1321
〒 332-0032 川口市中青木 4-1-24
- ⑭ケアステーションかしの木 ……TEL : 048-942-7533
〒 340-0043 草加市草加 4-5-1
- ⑮ケアセンターすこやか ……TEL : 048-299-8000
〒 332-0022 川口市仲町 1-36
- ⑯ケアセンターひだまり ……TEL : 048-760-2630
〒 344-0054 春日部市浜川戸 2-13-17 伏見屋第一ビル

県西地域ネットワーク

- ⑰埼玉西協同病院 ……TEL : 0570-010-323
〒 359-0002 所沢市中富 1865
- ⑱所沢診療所 ……TEL : 04-2924-0121
〒 359-1143 所沢市宮本町 2-23-34
- ⑲大井協同診療所 ……TEL : 049-267-1101
〒 356-0050 ふじみ野市ふじみ野 1-1-15
- ⑳あさか虹の歯科 ……TEL : 048-476-8241
〒 351-0033 朝霞市浜崎 724-2
- ㉑介護老人保健施設さんとも ……TEL : 04-2942-3202
〒 359-0002 所沢市中富 1617
- ㉒さんともホーム ……TEL : 04-2941-6358
〒 359-0002 所沢市中富 1622
- ㉓ケアセンターとこしん ……TEL : 04-2924-1119
〒 359-1143 所沢市宮本町 2-23-34
- ㉔介護付有料老人ホーム 桂の樹 ……TEL : 04-2923-3695
〒 359-1143 所沢市宮本町 2-23-34
- ㉕ケアセンターはんのう ……TEL : 042-983-8622
〒 357-0021 飯能市双柳 150-23
- ㉖ふじみ野ケアセンター ……TEL : 049-267-1104
〒 356-0004 ふじみ野市上福岡 3-3-7
- ㉗ケアセンターたかしな ……TEL : 049-291-6001
〒 350-1137 川越市砂新田 4-1-4 ブランドールビル 2 階

県北地域ネットワーク

- ㉘秩父生協病院 ……TEL : 0494-23-1300
〒 368-0016 秩父市阿保町 1-11
- ㉙熊谷生協病院 ……TEL : 048-524-3841
〒 360-0012 熊谷市上之 3854
- ㊱行田協立診療所 ……TEL : 048-556-4581
〒 361-0052 行田市本丸 18-3
- ㊲生協ちちぶケアステーション ……TEL : 0494-22-9902
〒 368-0016 秩父市阿保町 1-11
- ㊳生協介護センターこだま ……TEL : 0495-35-3271
〒 369-0306 児玉郡上里町七本木 3556-4-102
- ㊴熊谷生協ケアセンター ……TEL : 048-524-0030
〒 360-0012 熊谷市上之 3851-1
- ㊵深谷生協訪問看護ステーション ……TEL : 048-501-8170
〒 366-0042 深谷市東方町 2-7-2
- ㊶ケアセンターさきたま ……TEL : 048-556-4612
〒 361-0052 行田市本丸 18-3

つなぐ安心、明日もいきいき



 医療生協さいたま生活協同組合

2020年度 CSR報告書

まちづくり・社会活動レポート

2021年8月1日発行

〒333-0831 埼玉県川口市木曾呂1317

TEL : 048-294-6111 (代表)

FAX : 048-294-1601

<https://www.mcp-saitama.or.jp>

© Health Co-operative SAITAMA